



本願寺第11代額如宗主 400 回忌法要
本願寺寺基京都移転 400 年記念法要

回顧 西林寺一行本願寺団体参拝



発行元
西林寺門徒総代会
広島県安芸郡坂町
坂東3-14-17
(082)885-0018
西林寺
<https://sairinji.or.jp>



杖のことば

あなたがすることの
ほとんどは無意味であるが
それでもしなくてはならぬ
世界を変えるのは
世界を変えるためではなく
自分によって変えられる
世界によつて変えられる



第23代門主による帰敬式

平成の大修復後に修行された本願寺第23代勝如上人御親修による落成慶讃法要時には、勝如門主より帰敬式を執行了いただき、500人近くの門信徒に法名が授与されました。そして行昭継職以降、3度に亘ってお手代りの御連枝の来向を仰ぎ、総数千人の門信徒が西林寺で帰敬式を受式し法名を拝受しました。これは全国でも類を見ない特筆すべき業績といえます。

現在までに山門・築地塀及び書院の修復も完了し、境内に車両が乗り入れられるように裏口の道路拡幅工事と駐車場も整備されました。更には、納骨段併設永代納骨墓「樹心廟」が境内に建設されました。

また、誰もが気軽に立ち寄れる開かれたお寺を目指し、月一で西林寺みのり食堂（子ども食堂）やヨガ教室も開催し、午後5時には毎日鐘つきを行い、多くの子どもが鐘を撞きに集まってくれます。

近現代150年の歩み(14)

編集後記

一年が過ぎるのが早く感じるのは、加齢による脳の衰えの影響でしょうか。

年々新しい年を迎えたという実感が湧きにくくなってきましたが、自然災害やクマ・サル等の被害に悩まされる昨今、目先のことに振り回されることに気をつけて、穏やかに一年を過ごしたいと願うばかりです。



今年は終戦80年の節目の年でした。唯一の被爆国としての被害の歴史だけでなく、加害の歴史も伝承してゆくことの重要性を鑑みて、太平洋戦争没発の端緒である真珠湾攻撃が行われた日に、この趣旨に賛同された30人の参拝者と非戦平和を願い、平和の鐘を打ちました。

平和の鐘



江戸後期に蜂起した本願寺史上最大の騒動である「三業惑乱」で尽力された大瀛和上のご功績を訪ね、和上ゆかりの西林寺に来院されました。本堂参拝後、書院にて大瀛和上や普賢勸学の遺書等を拝観いただきました。



法座案内

御正忌報恩講

1月15日(木) 昼席より
16日(金) 昼席まで
御伝 鈔上巻 拝読 15日夜席
下巻 拝読 16日昼席
講師 西林寺住職

※昼席におぜんざいの接待があります

御紐解法座

2月22日(日) 昼席より
23日(月) 昼席まで
講師 鹿児島市福山町
善福寺長倉伯博師

春季彼岸会
3月19日(木) 昼席より
21日(土) 朝席まで
講師 西区南観音
東元晃慈師

朝席7:00～・昼席13:15～・夜席19:30



内敷(※1)

エアコン(※2)

寄付御礼

下花 健男様
一、夏用打敷一式(※1)
一、本堂空調設備四基(※2)
一、内陣壁面彩色入金紙修復
高山 定松様
金一封 門徒総代会へ
右、慈宝院釋素清(高山素子様)
本願寺院号申請御礼として
車地 順一郎様
金一封 門徒総代会へ
右、智積院釋孝道(車地尚徳様)
本願寺院号申請御礼として
小山 照子様
小只 順子様
金一封 門徒総代会へ
右、西林寺護持協力金として

聞思録(もんしりく)

「今朝、鏡を見ましたか」と聞くと、多くの人は「見ました」と答えるでしょう。では「鏡を見てどうでしたか」と聞くと「しわが増えた」とか「寝癖がついていた」という返事はあっても「我が家の鏡は四角い形でした」と答える人はいません。しかし、どちらも鏡を見ていることには違いありません。

中国の善導大師は「経教(きょうきょう)はこれを喩(よ)ふるに鏡のごとし。(お経に説かれた仏さまの教えは、鏡のようなもの)」とおっしゃっています。「鏡を見る」と「桜を見る」では、同じ「見る」でも意味が違います。「桜を見る」と言った場合は「桜」そのものを見ます。一方で「鏡を見る」と言った場合は「鏡」そのものではなく「鏡に映った自分」を見ること、つまり鏡のはたらきに会うことを意味します。

「仏法を聞く」ということは「鏡を見る」という見方に重なります。仏法を聞いたときに「仏さまの教えはこんな教えなのか」と客観的に教えの内容を理解しただけでは聞いたことにはなりません。仏法を聞くことは、そのはたらきに遇うことによって自分の内面が知らされてくるのです。自分の外見は鏡を見れば分かります。しかし、自分の内面はそうではありません。仏法は私の内面をありのままに映し出す鏡なのです。

仏事の心得(ふつじのこころ)「通夜勤行(つうやきんぎょう)」

臨終勤行(枕経)に続く仏事は、通夜勤行(お通夜)です。これは「夜伽(よとぎ)」とも呼ばれてきました。「伽(とぎ)」とは葬儀までの夜ごと(もしくは前夜)に、ご遺族や近親者が仏前に集い、夜を通して寄り添い過ごす風習です。お釈迦さまの入滅時に、弟子たちがご遺体を囲んで、一晚中語り合っただという故事に由来します。

お通夜は、故人の死を厳粛に受け止め、深い悲しみの中で苦楽を共にした故人の死を他人事とせず自らの問題として受け止めて、み教えを通して自らの人生を訪ねてゆく大切な仏事です。ですから、寝ずの番をして、ろうそくの灯や線香が絶えないように見守る必要はありません。

お通夜会葬時は、訃報(ふほう)を聞き、急ぎ駆けつけることもあるので、派手な色や柄物の服装などを避ければ、地味な平服でも問題ありません。但し、近年葬儀に参列できない人の葬儀に代わる儀式という意味合いが慣例化してきた地域もあるので、黒の式服等を着用する方が望ましいでしょう。

また、仏事に参列するのでから念珠と門徒式章及び経本も持参しましょう。西林寺では、会葬の皆さまと一緒に「正信偈六首引き(正信念仏偈と和讃六首)」のお勤めをしています。

仏教婦人会 あれこれ

仏婦報恩講法座 11月21・22日

親鸞聖人のご遺徳の讃仰と先立たれた有縁の皆さまからいただいた御恩への感謝のみならず、数多の「おかげさま」に気づき、喜べる身にお育ていただけてきたことへの確かなの尊いご縁をいただきました。

また、昼席終了後には、門信徒会館にて恒例となった「きんさい市(野菜他)」も開かれました。今月は人気のお餅が登場し、好調を博しました。



仏教婦人会行事予定

毎月5日 理事会
毎月24日 役員勉強会
1月12日(月) おみがき・清掃奉仕
1月24日(土) 消火器訓練

ダーナ募金のお願い

ダーナ募金は他者を思いやる心の実践の一形態です。仏教婦人会は慈しみの心・支え合う心を実践するこの活動を大切にしています。その募金は宗門内のみならず、坂町内の社会福祉活動や貧困・人権・教育・環境保護活動等に支援しています。

今年もご協力をよろしく願います。

仏教壮年会 あれこれ

安芸北組研修会 10月21日

宗門の重点プロジェクトである「貧困の克服に向けて」の趣旨の周知とその具体的な取り組みについて、安芸教区教務所長の熊谷正明広島別院輪番よりお話をいただきました。日頃、私たちの気づけていなかった貧困の現実を学びました。



松の木剪定 10月27日

秋の剪定(もみあげ)は松特有のもので、大変手間な作業ですが、手入れをすればするほど美しい樹形に仕上がります。

今年は剪定作業の有志が少なく例年よりも時間を要しました。



仏教壮年会行事予定

毎月10日 月例会(經典学習会)
1月12日(月) おみがき・清掃奉仕
1月17日(土) 安芸教区仏壮研修会
3月7日(土) 安芸教区公開講座

お寺ヨガ教室

毎月最終火曜日。10時〜11時30分。体験・単発参加歓迎です。気分転換・リフレッシュに新しい習慣を身につけましょう。

西林寺みのり食堂

毎月最終水曜日。3月まで16時開始。